

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 3 月 1 日作成)

小委員会名	西洋建築史小委員会	主 査 名：星 和彦 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会	委員長名：後藤 治 主 査 名：
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・若手研究者の育成・強化策、発表の場の設定などについて議論、検討、実行する。 ・国際的な研究動向をふまえ、新しい研究活動、研究領域の拡大、隣接研究分野との学際協力の可能性、および日本における西洋建築史研究のありかたについて議論、研究する。 ・学術的国際交流促進の方法について議論・検討し、関係する情報の流通・公開の促進を図り、小委員会としての役割を検討する。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 主査：星和彦（前橋工科大学） 幹事：海老澤模奈人（東京工芸大学）、加嶋章博（摂南大学） 委員：伊藤重剛（熊本大学）、伊藤大介（東海大学）、伊藤喜彦（東海大学）稲川直樹（中部大学）、大橋竜太（東京家政学院大学）、加藤耕一（東京大学）、太記祐一（福岡大学）、戸田穰（金沢工業大学）、中島智章（工学院大学）、西田雅嗣（京都工芸繊維大学）、堀賀貴（九州大学）、横手義洋（東京電機大学）	
設置 WG (WG 名：目的)	『西洋建築史図集』WG 現行の『西洋建築史図集』の問題点の洗い出しは終了し、改訂『西洋建築史図集』の構成・内容の検討、及び執筆形態・写真等の取り扱い、執筆予定者の検討も実施した。ゆえに執筆者主体の WG への改編を検討する。『西洋建築史用語集』の可能性についても平行して検討していく。	
2015 年度予算	170, 000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 主査の交代に関して連絡、また意志の疎通にかけ、幹事に負担をかけた。そのため、当初の目的を十分に達成できなかった。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 今年度は、西洋建築史若手研究者研究会が開催できなかった。隔年開催は最低実施したいので、来年度は重要課題として取り組む。 2. 『西洋建築史図集』の改訂の作業を継続する。